

消化器がん患者の手術中の体温維持に役立つ可能性を示した、 ホエイプロテイン含有クリア飲料に関する論文が 国際的学術誌「Clinical Nutrition Open Science」に掲載されました

ネスレ日本株式会社が販売するホエイプロテイン含有クリア飲料に関する研究成果が、欧州臨床栄養代謝学会（European Society for Clinical Nutrition and Metabolism: ESPEN）※1の公式学術誌「Clinical Nutrition Open Science」に掲載されました。

市立ひらかた病院の中西一起先生らは、ホエイプロテイン含有クリア飲料を手術前に摂取することと、手術中の体温低下との関連を検討しました。

本研究では、手術当日の朝にホエイプロテインを含むクリア飲料を飲んだ患者では、手術中に体温が下がる割合が 14.9%と、飲まなかった患者（42.3%）よりも低いことが確認されました。

この研究は、手術前の栄養補給が、手術中の体温を保つためにも重要である可能性を示しています。

※1 欧州臨床栄養代謝学会（European Society for Clinical Nutrition and Metabolism、略称 ESPEN）は、臨床栄養の分野でヨーロッパを代表する学会。1979 年に設立。世界の栄養学分野において、学術と教育の両面で指導的な役割を担っています。

論文情報

タイトル	Association between preoperative carbohydrate loading with a whey protein-containing clear beverage and intraoperative hypothermia in patients with gastrointestinal cancer: A retrospective cohort study
著者	Kazuki Nakanishi, Mayumi Yano, Taro Suzuki, Kazuhiro Kasamai, Yasuki Mochi, Shota Matsufuji, Shinichiro Miyazaki
掲載雑誌	Clinical Nutrition Open Science, Volume 69, 2026, 100723.

研究背景

手術中に体温が低下する「術中低体温」は、術後の回復の遅れや合併症のリスクにつながる可能性があるため、医療現場では体温管理が重要視されています。近年、手術前に炭水化物を含む飲料を摂取することが推奨されていますが、ホエイプロテインを含む飲料が手術中の体温維持に役立つかどうかは十分に検討されていませんでした。そこで本研究では、手術当日にホエイプロテインを含むクリア飲料を摂取することと、手術中の体温低下との関連を調査しました。

研究方法

市立ひらかた病院で、全身麻酔下の低侵襲手術(腹腔鏡手術、胸腔鏡手術、ロボット支援手術)を受けた消化器がん患者 205 名を対象に後ろ向きに解析しました。手術当日の朝にホエイプロテイン含有クリア飲料(無脂肪、1本あたり 200kcal、ホエイプロテイン 10g)を摂取した 94 名(ONS^{※2} 摂取群)と、摂取しなかった 111 名(非摂取群)を比較し、手術中の体温低下(36.0℃未満)がどの程度発生したかを評価しました。

※2 経口栄養補助 (Oral Nutritional Supplements)

主な結果

- 手術中の低体温の発生率は、ONS 摂取群で 14.9%、非摂取群で 42.3%と、ONS 摂取群で有意に低くなりました。
- 手術開始後 60 分以降は、ONS 摂取群の方が体温を高く維持していました。
- 60 分、90 分、120 分後の各時点で、36.0℃未満となった患者の割合は ONS 摂取群で有意に低くなりました。
- 解析の結果、ホエイプロテインを含むクリア飲料の摂取は、手術中の低体温リスクの低下と関連していることが示されました。

参考資料

ネスレ日本について

ネスレ日本は、スイスに本社を置く世界最大の総合食品飲料企業ネスレの日本法人で、1913 年（大正 2 年）に創業しました。ネスレは、「食と飲料の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」を存在意義（パーパス）として掲げ、安全に、美味しく、環境にも配慮された製品やサービスを皆さまにお届けできるよう、今後も努めていきます。

<https://www.nestle.co.jp/>